

# 始良校区

## コミュニティ協議会だより

発行 平成30年3月15日  
号数 第9号  
事務所 始良市西餅田 3311-1  
(始良市働く女性の家内)  
電話 73-8389 (火、木、金)

### 平成29年度の事業実行状況について

会長 大浦地 政廣

平成29年度計画の事業は、皆様のご協力により、予定どおりに実施できましたことに対して心から御礼を申し上げます。

今年度は例年実施している事業に加えて、「校区まちづくりプラン」と「校区のマップ」作りに取り組みました。



市の花 (山桜)

「校区まちづくりプラン」は、アンケート結果や自治会長、民生委員・児童委員の皆様からの提案を受け、さらに地域の企業や各団体の代表者の中から、「まちづくりプラン作成委員」を選任して、委員の皆様からいろいろな提案やご指導をいただいて、「始良校区まちづくりプラン」が完成しましたので、皆様にお届けすることができました。

今後は、この「まちづくりプラン」に基づいて校区内の諸事案の改善を提案し、始良校区がよりよくなるよう、皆様のご協力を得ながら進めて参ります。

「校区のマップ」を作ることの取り組みは、校区内の皆様のご協力を得て、町歩きをする中でいろいろな発見をすることができました。また、みんなで問題点の発見ができたことなどの成果があり、作成することができましたので、皆様のお手元にお届けいたします。

皆様のご期待に応えられていないかも知れませんが、今後の生活の中でご活用いただければ幸いです。

### 青少年育成部からの活動報告

今年度も沢山の方にご協力をいただき年間の行事を終わらせることが出来ました。6月の重富海岸干潟体験勉強会を皮切りに、夏休みには楽しい和菓子づくり教室を2回実施し、夏休み後半はスターランドAIRAでの星座教室を行いました。あいにくの曇り空の天気です外での星の観察はできませんでしたが、上田館長の計らいで星座缶(空き缶を使って1年中の星座の位置がわかる仕組み)作りを切り替えていただきました。



重富海岸干潟体験勉強会の様子

どの行事に於いても定員いっぱいの参加があり満足の29年度でした。

2月5日に行いました3年生とのふれあい教室は2時間と限られた時間での活動でしたが教える方、教えられる方共に懸命の様子が伺えました。インフルエンザが流行していて残念ながらふれあい給食はできませんでしたが楽しい時間を過ごせました。



楽しい和菓子づくり教室の様子

永遠に不滅の「子どもは地域の宝」を合言葉に今後も向き合ってのご指導よろしく申し上げます。

なお、各行事の実施月日と参加者数は次のとおりです。

6月24日(土)	重富海岸干潟体験勉強会	47名
7月26日(水)	楽しい和菓子づくり教室①	40名
8月2日(水)	楽しい和菓子づくり教室②	42名
8月21日(水)	星座教室	46名
2月5日(月)	ふれあい教室	120名

(文責：青少年育成部 中村 學)



星座教室の様子



ふれあい教室の様子

## 健康推進部からの活動報告

三世代グラウンド・ゴルフ大会は、11月18日(日)に、61名の方々(選手・応援)の参加を得て楽しいプレーができました。成績は次のとおりでした。

### 1 参加チーム(8チーム)

・西宮島A、B ・楠元団地A、B ・楠元A、B ・始良駅南 ・俵原

### 2 成績

○ 団体の部 優勝：俵原 準優勝：西宮島B 第3位：楠元団地A

○ 個人の部 (大人)

優勝：東 喜邦 準優勝：神ノ口 明宏 第3位：中馬 睦夫

(こども)

優勝：篠田 陽介 準優勝：西郷 百音 第3位：大城 歩志

以上で健康推進部の活動のすべてが実施できました。自治会長、民生委員・児童委員、スポーツ推進委員、参加応援していただいた皆様に心からお礼を申し上げます。(文責：健康推進部 中馬 睦夫)

## 始良校区の子ども達に声かけを！

自治会内の子ども達に、会う機会がありましたら「あいさつ」などの声かけをしていただきますようお願いします。

地域内の子どもは、「地域みんなで育てよう！」という趣旨です。よろしく申し上げます。

## 楠元鬼火焚き盛会裡に終わる

平成30年の年頭を飾る「楠元鬼火焚き」は、1月13日（土）午後6時に点火して勢いよく燃え上がりました。

この冬は寒さが厳しく風も強く、12月17日（日）の鬼山作りは、山を組むたびに吹き倒され、当日の作業を中断しました。好天を見計いグラウンド・ゴルフ仲間の協力で、山の形態ができ23日の最終作業で立派な鬼山が完成しました。

その後、のぼり旗や掲示板の設置、あいらびゅーFMラジオなどで呼びかけをし、点火当日を迎えました。



日暮れと共に、人々の群れが続き、鬼山の周りを取り囲み点火を待ちました。

自治会長の年頭のあいさつ後、花田さんの親火から、戊年生まれの小学生や年男・年女の参加者の子火へ移され、点火されました。山に火がつくと、おりからの風にあおられて勢いを増す炎が夜空を焦がし、竹のはじける音が鳴り響きました。

初めて目にした観衆からは、「スゴーい」・「ワーキレイ」などと感嘆の声があがりました。

火の勢いが収まり始めると、テントからの合図で振る舞いが始まりました。ビールや豚汁・ぜんざいを求めて行列ができ、舌鼓を打つ大勢の人々の満足げな顔が暖かい火に映し出されました。



振る舞いを求める人々が後を絶たず、入れ物や箸が不足するほどのうれしい悲鳴でした。火のぬくもりで寒さも吹き飛び、今年も楽しく盛大な鬼火焚きができました。田んぼや孟宗竹を提供いただいた吉中さん、口ぞえをしてもらった花田さん、発電機は思川水系から借用するなど多くの人々の協力で1つの行事が成り立つことを痛感しました。翌14日、多くの人々の参加でゴミ拾いとテントや用具の後始末など、きれいにできました。始良校区コミュニティの協力で、300名を超える盛大な鬼火焚きの成功を喜びたいと思います。感謝！感謝！（文責・小倉 章）

## 鬼火焚きに参加しての感想

新年を迎えると待ちに待った、始良校区の年始の風物詩となっている「楠元鬼火焚き」が行われました。参加されるみなさんは、高さ15mもある鬼山が高々と燃え上がる火柱に見入りながら、この一年の五穀豊穰、無病息災、安全祈願、商売繁盛など思い思いに祈願されていました。

地元、楠元自治会から歓迎の思いを込めて、振る舞われた「ビール」「ぜんざい」「豚汁」等に舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごしました。

参加者から「このような素晴らしい伝統・文化は、ぜひ続けてほしい。」とか「地元の方々のおもてなしに感謝します。」「来年も参加させてください。」その他「初めて参加しましたが、このように多くの方が参加されており、すごい行事だなとびっくりしています。」などの声が聞かれました。参加者300名近くのこの大イベントをお互いの交流の機会としてとらえ、地域発展のためにも、ぜひ、この意義ある伝統行事を続けてほしいと願っています。（文責：早瀬 五男）



## がんばる 始良っ子

### イタリアへサッカー留学・八田 駿輔君 (始良小学校 6年)

始良市のスポーツクラブ「FC アラーラ かごしま」に所属している、八田駿輔君がサッカー少年派遣事業（応募合格）で、イタリアの有名なプロサッカーチームA・Cミランの本拠地へ、12月6日から15日までの10日間、サッカー留学をしました。全国からの12名中の一員として、九州からただ一人の参加でした。メデカルチェックを経て、6日間のトレーニングやセリエAのACミラン対ボローニャの公式戦の観戦や、選手との交流（ハイタッチなど）・またユースチームとのトレーニングマッチなどサッカーの本場で貴重な体験をしてきたようです。練習方法も日本とは違い、頭脳プレーや周りや味方をよく見てパスを出すなど再認識させられました。



(本人は左から3人目)

観光を含めて、本場で経験をしたことを「FC アラーラ かごしま」のチームメイトにも伝授するなどして、今後に生かしてほしいです。(文責：小倉 章)

### 始良ミニバスケットボールスポーツ少年団 全国大会へ

始良ミニバスケットボールスポーツ少年団は、昨年11月に県下59チームが参加して開催された県選手権大会で見事に優勝し、3月に群馬県で開催される全国大会に挑みます。

この少年団は創部36年で、市内の5つの小学校（始良小、建昌小、松原なぎさ小、重富小、西始良小）に通う26名（始良小9名）が永野コーチの指導で、始良小学校体育館を拠点に練習しています。

日頃からチームワークを高め全員で声を出しあい、豊富なスタミナを基に粘り強いディフェンスとスピードのある攻撃で県下の主要大会を制覇してきました。現在、3月の全国大会に向けて、日々激しい練習に励んでいます。始良小6年の前屋有志キャプテンは、「鹿児島県代表として恥ずかしくない成績を残せるよう全員でがんばりたい」と抱負を語ってくれました。チームの健闘とがんばる子ども達のさらなる成長を期待し、応援しましょう！（文責：岩下 卓夫）



### 始良なぎさVC再び全国大会へ

始良なぎさVC(バレーボールクラブ)が、昨年12月にあった全国スポーツ少年団バレーボール交流大会県大会で優勝し、3月に群馬県で行われる全国大会に出場することになりました。(全国大会は夏に続いでの出場) 始良なぎさVC(始良小6名)は、福山勝利監督の指導で一糸乱れぬ素晴らしいチームワークのもと、日々練習に励んでいます。主将の「吉留 風雅」さんは、「私たちが、全国大会へ出場できるのも、福山先生にご指導いただいていること、また、家族や地域のみなさんがいつも暖かく声援してくださっているおかげです。頑張ってきます。」という大会への意気込みを話してくれました。

福山監督からは「熱心に練習してきた子どもたちをはじめ、保護者のみなさん、そして、地域のために精一杯頑張ってきます。」という全国大会への思いが聞かれました。大会での健闘を期待します。



(文責：早瀬 アキ子)